

事務事業調書

平成27年度

事業No	567	課	拠点整備室	係	拠点整備係	起案者	井上章
						決裁者	鳥居純
事務事業名	中心市街地拠点整備事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 4 市街地 1 中心市街地 1 都市基盤・環境整備 5 交流拠点整備			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		40-20-40		
				総合計画以外の計画		中心市街地活性化基本計画		
				関連する総合計画の施策		3-4-1-1-1		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H27.2月公約 拠点施設の整備促進						
陳情・市民要望	有	安城商工会議所、安城市商店街連盟、周辺住民より早期事業化の要望						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了	平成28年度	期間	9年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	中心市街地活性化用地（更生病院跡地）及びその周辺が			～になる	賑わいを創出する場として整備されます。		
事務事業の内容	中心市街地活性化用地（更生病院跡地）を市民の交流拠点、まちづくりの拠点として整備します。 平成29年6月の供用開始に向け、拠点施設の整備を実施します。							
改善・対策の履歴	<H21年度> 市民フォーラムやパブリックコメントなどで、更生病院跡地の整備に対する意見の聴取や理解を得るための機会を広く設け、中心市街地拠点整備基本計画を策定しました。 <H22年度> 中心市街地拠点施設の敷地形状を変更しました。 <H24年度> 民間事業の再調査など検討を重ねて事業方式を定めました。多様な機能を持った情報拠点施設を整備する方針を定めました。 <H25年度> 募集要項を公表し、事業者への条件提示を行いました。 <H26年度> 事業者及び関係部署等と協議を行い、事業進捗のための調整を行いました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	33,388	25,320	57,052	52,589	44,880
財源計	18,583	8,940	39,097	34,634	26,925
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	104	100	1	160
	一般財源	18,479	8,840	39,096	34,474
受益者負担金	4	0	1	0	0
職員人件費 (従事職員数)	14,805 (2.35)	16,380 (2.60)	17,955 (2.85)	17,955 (2.85)	17,955 (2.85)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	中心市街地拠点整備の委託	見込	3.00	3.00	4.00	2.00
			実績	3.00	3.00	4.00	
	指標名 (単位)	委託件数(件)	活動の総事業費(千円)	26,965	16,296	39,711	
			活動にかかるコスト(千円)	8,988.33	5,432.00	9,927.75	
活動2	活動名 (活動内容)	暫定広場に関する管理	見込	12,534.00	12,534.00	12,534.00	0.00
			実績	12,534.00	12,534.00	12,534.00	
	指標名 (単位)	管理面積(m ²)	活動の総事業費(千円)	1,697	1,591	1,493	
			活動にかかるコスト(千円)	0.14	0.13	0.12	
活動3	活動名 (活動内容)	施設愛称・ロゴの作成	見込	0.00	0.00	0.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	委託件数(件)	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	50.00	75.00	85.00	90.00
	中心市街地活性化用地(計画～整備)の進捗率(%)			実績	50.00	75.00	85.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	90.00	達成状況	達成	達成	達成
				実績				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	事業の進捗状況および施設整備の内容等について、市民説明会を開催しました。また、工事用仮囲いに看板設置し、事業啓発を行いました。
--------------	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	事業実施にあたり、PFI手法に関して高度な専門知識とノウハウを有するコンサルタントに支援を受ける委託契約を行ったためコストが発生しました。 暫定広場に関する管理については、事業進捗にともない平成27年1月末時点で広場が廃止となったためコストが減少しました。
成果	事業者との協議において、法律的な考え方や専門知識による助言を得ることができ、適正に事業進捗を図ることができました。

7 所属長の改善案	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
	建設工事着手にともないモニタリングのコストは増加しますが、適切なタイミングで効果的にモニタリングを行うことにより、手戻りや業務水準の未達がないよう確認する必要がある。

8 方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続	今後は、着実に建設工事を進めるとともに、施設の運営や周辺地域との連携について、事業者及び関係部局と協議・調整をおこない、にぎわい創出のため事業を推進していく必要があります。